

# 靜宜大學九十八學年度轉學生招生考試試題

系級：日本語文學系三年級

科目：日語語法(二)

※ 次の文の ( ) には、どんな言葉を入れたらよいか。

a~d の中から最も適当なものを一つ選びなさい。 毎題 2 分

1. 今回の選挙は有権者の皆様方の絶大なるご支援 ( ) 当選でございます。心より感謝申し上げます。  
a. あつての      b. あるべき      c. あればの      d. あつたの
2. まだ 18 歳の若さで、親から独立し、学費を自分の手で稼ぎながら、弁護士を目指して勉学に励むとは、感心の ( )。  
a. 至りだ      b. 極めだ      c. きりだ      d. かぎりだ
3. 中川さんは大学で勉強する ( ) コンビニでアルバイトをしている。  
a. あまり      b. かたわら      c. うちに      d. そばから
4. 散歩 ( ) 皇居前広場を通過して東京駅まで行った。  
a. がてら      b. のがてら      c. がてらで      d. がてらの
5. 斉藤さんは噂によると、一千万円 ( ) 借金を抱えていると言う。  
a. にまして      b. にたる      c. ゆえの      d. からの
6. こんな真夜中に電話をしてくるなんて、非常識 ( )。  
a. 極まっている      b. 極まらない      c. 極めている      d. 極まらない
7. 学生宛の荷物が学校に届いたが、夏休み中の ( ) 連絡の仕様がなかった。  
a. ことに      b. ことさせ      c. こととて      d. ことでは
8. 男前で、お金持ちで、優しくて、そんな結構 ( ) の結婚相手はいないよ。  
a. ぐらい      b. ずくめ      c. めいて      d. ぼっちで
9. 片付け ( )、おもちゃを散らかす子供。  
a. ればそばから      b. れるそばから      c. たそばから      d. たいそばから
10. 今さら悔やんでみ ( ) 始まらない。「後悔先にたたず」だ。  
a. るところで      b. たところで      c. でもところで      d. ようところで
11. 会社は 4 月 1 日から週休二日制を実施すると言っているが、日曜 ( ) 十分休めない社員が少なくない。  
a. だに      b. しかし      c. のみ      d. ぐらい

# 靜宜大學九十八學年度轉學生招生考試試題

系級：日本語文學系三年級

科目：日語語法(二)

12. お百姓さんが作ったお米は一粒（ ）無駄にできない。  
a. ならでは      b. どころか      c. たりとも      d. までも
13. 教育者（ ）、そんな寛容の無さでは人を指導できない。  
a. たるもの      b. たりもの      c. たりした      d. たりする
14. あの歌手は甘いマスクとハスキーな声が、そのスマートな容姿（ ）、瞬く間に若い女の子の間で人気の的になった。  
a. と相まって      b. とともに      c. にともなって      d. にしたがって
15. 夏休み（ ）、どこのプールも子供たちでにぎわっている。  
a. にいたって      b. とあって      c. にとって      d. にして
16. このラーメンは麺（ ）スープ（ ）、まさに絶品だね。  
a. であれ、であれ      b. なり、なり      c. といい、といい      d. ですら、ですら
17. 親（ ）、勝手に子供あてに来た手紙を読んではいけない。  
a. といえども      b. として      c. ともなく      d. とばかりに
18. S先生の講義はつまらない（ ）ありゃしない。それにお高くとまっていて、学生に不親切だ。  
a. というなら      b. といえば      c. といっても      d. といったら
19. 部長はやっとマイクを置いた（ ）、また歌い出した。いいかげんにしてほしいよ。  
a. と思いきや      b. と思うに      c. と思いたいから      d. と思ったから
20. うちの母（ ）、本当に慌て者なのだから。  
a. としたら      b. ときたら      c. として      d. ときて
21. 困った（ ）助けていただきまして、本当にありがとうございました。  
a. ところで      b. ところが      c. ところへ      d. ところを
22. おなかをすかせた相撲部の連中を焼肉屋へつれていった。目の前に肉が運ばれてくると「さあ、食うぞ」（ ）はしを持った。  
a. ともない      b. とばかりに      c. とおもいきや      d. ともなれば
23. 喫茶店に流れる静かな曲を（ ）聞いていたら、昔、恋人と一緒に見た映画の音楽だとわかり、懐かしさで胸がいっぱいになった。  
a. 聞くともしに      b. 聞きながら      c. 聞こうにも      d. 聞くとはいえ
24. 痛みを伴う経済改革（ ）、日本の経済再建の道はありえない。そうでしょ、小泉さん！  
a. なくても      b. なくしても      c. なくしては      d. なくしてが

# 靜宜大學九十八學年度轉學生招生考試試題

系級：日本語文學系三年級

科目：日語語法(二)

25. コアラにカンガルー。オーストラリア（ ）の光景だ。  
a. なしでは      b. なりでも      c. ならには      d. ならでは
26. ねえ、あなた！早くこの魚、煮る（ ）焼く（ ）してちょうだい！  
a. や、や      b. ベし、ベし      c. なり、なり      d. し、し
27. この問題は役人だけに任せておくのではなく、私たち住民（ ）対応策を考えなければならぬ。  
a. なりの      b. ために      c. からに      d. ところに
28. お腹が少し出たからといって、そんなに気にするには（ ）。ほら！S先生はビール腹ながらも却って自分は堂々たる体格だと信じ込んでいて恥ずかしいとは思っていない。  
a. あたっている      b. ありうる      c. あたらぬ      d. ありえない
29. 日本語の勉強は、特に初級の段階（ ）は、動詞の活用を覚えることが大事である。  
a. にいたって      b. にあつて      c. にとって      d. にして
30. 斉藤は上司にはっきり注意される（ ）、ようやく自分の言葉遣いに問題があることに気が付いた。しかし、人の性格はそう簡単に変わるものではないだろう。  
a. に至って      b. にひきかえ      c. について      d. に際して
31. 交通事故で一人息子をなくした親の悲しみは察する（ ）。  
a. に難しい      b. に難しくない      c. に難い      d. に難くない
32. 事故が発生し、一瞬（ ）家族全員を失った。  
a. だから      b. であれ      c. にして      d. とはいえ
33. 物事は実情（ ）解決されるべきだ。  
a. をよそに      b. に即して      c. はもとより      d. にひきかえ
34. 斉藤先生は教師の鏡です。学生たちが信頼する（ ）教師です。  
a. に足る      b. に足りない      c. に足りてる      d. に足った
35. 石油の需要は増えているの（ ）、石炭の需要は減りつつある。  
a. にひきかえ      b. はもとより      c. とはいえ      d. とともに
36. 暴漢に襲われた時は危ういところを助けていただき感謝（ ）です。  
a. まみれ      b. の極み      c. だらけ      d. のきり
37. 彼は酔っ払って、歩くことは（ ）、立つことさえできない。  
a. あげく      b. おろか      c. きわみ      d. かぎり
38. 言うべきことは言わず、（ ）ことばかり言うマサシは許せない。  
a. 言うだけの      b. 言うべき      c. 言うべし      d. 言うべからざる

# 靜宜大學九十八學年度轉學生招生考試試題

系級：日本語文學系三年級

科目：日語語法(二)

39. 友人の送別会に ( )、上京する。  
a. 出席しようにも b. 出席すべく c. 出席しえんばかりに d. 出席せざるをえず
40. 女生徒にいたずらするなんて、教師に ( ) ワイセツ行為だ。  
a. あるまい b. あるまじき c. ないまじき d. ないべき
41. 卑劣な同僚の S さんは眼中にない。あいつのことは無視する ( )。  
a. までのことだ b. わけのことだ c. しかのことだ d. からのことだ
42. 汗 ( ) になって働いている父の姿を見て、改めて感謝の念を抱いた。  
a. まみれ b. ずくめ c. の限り d. に極み
43. ひねくれ者の S さんは、いつも皮肉 ( ) ことばかり言っている。  
a. っぽい b. めいた c. どうりの d. づいてきた
44. 甲子園大会の決勝戦へ出場することになった我が校の野球部は、この試合に対する学校関係者の期待 ( )、地元の期待も一身に集めた。  
a. ではあるまいし b. をよそに c. なくしては d. もさることながら
45. なあんだ、予め言ってくれれば、彼の携帯電話の番号を教えてあげた ( )。  
a. ものを b. ように c. ほどに d. ばかりに
46. A 国では政府の経済政策に反対する国民のデモ抗議 ( )、次々に暴動が起き、内戦へと発展していった。  
a. までもなく b. を余儀なくされ c. ではあるまいし d. を皮切りに
47. 松田さんは同僚の S さんの嫌がらせ ( )、着実に業績を伸ばしている。  
a. のみならず b. いかんによって c. をものともせず d. と相まって
48. 息詰まる熱戦だったが、突然の雷雨に、試合の中断 ( )。  
a. を余儀なくされた b. を余儀せずさせた c. を余儀せずされた d. を余儀なくさせた
49. S さんは上司に自分をよく見て ( )、見え透いたおべっかをよく使う。本当に卑しいったらありやしない。  
a. もらわんがため b. もらぬがために c. もらうまいがために d. もらないがために
50. 彼は早く帰れと ( ) 私を無視してテレビを見始めた。  
a. 言わんばかりに b. 言わないほどに c. 言わないのみで d. 言わぬが仏と